

平成 25 年度 第 4 回育成・普及委員会 報告

- 日 時 平成 25 年 10 月 21 日 (月) 19 時から 20 時 20 分
- 場 所 味の素ナショナルトレーニングセンター 研修室 2
- 出席者 平野一成、山崎豊、江村宏二、吉澤博通、富田智子、高橋理恵、添田康雄
- 議 事

1. 報告事項

(1) 各事業の進捗状況について

①MPA 事業について

- ・ 11 月から新たなシーズンが始まるが、対象となる競技者の中には高校進学を控えている者もあり、進路選択について早急に対応して行くことが必要である。

②ミニム部会について

- ・ 11 月には 2 つの海外遠征が予定されている。
- ・ 京都で開催されている全国少年大会の団体戦については、平成 27 年度以降の開催が助成金カットの影響もあり確定していない。

③育成部会

- ・ 育成選手の海外遠征が各種目とも予定されているが、2 月のフランスでの大会には強化選手の参加も急遽決定したこともあり、円滑に進めていく必要がある。

2. 検討事項

(1) NAVI カデブロックキャンプの開催について

- ・ 各ブロックへ派遣する講師が決定した。国際経験豊富な指導者であり、質の高い講習が期待できる。
- ・ 指導内容については共通のテーマを決めて実施するが、それ以外の部分は各講師の経験などを活かしたものとする。
- ・ 中央キャンプへの推薦者については各ブロック 2～3 名とし、講師や委員、各ブロック担当者で協議して決定する。選抜の基準は現在の競技力だけでなく、将来性なども加味して行なう。
- ・ 各ブロックキャンプには委員も参加し、活動内容等を把握するようにする。

3. その他

- ・ 今年度の全日本学生選手権（東京：駒沢）では JADA と連携して、アンチドーピングに向けた啓発活動を行なう。
- ・ 育成関係の海外遠征についても報告書の提出を義務付けていく。その積み重ねが強化の観点からも貴重なデータとなる。
- ・ 大会については精査し、名称等も統一させていく必要がある。例えば、「JOC ジュニアオリンピックカップ」を全日本選手権のジュニアとカデの大会と位置付け「全日本フェンシング選手権（ジュニアの部）」などという名称を加える。

修了後、今後の日本スポーツ界の動向についての研修を実施